

平成 23 年 11 月

一般社団法人日本アフェレシス学会
会員各位

一般社団法人日本アフェレシス学会
理事長 津田 裕士
技術委員会 委員長 松金 隆夫

コ・メディカルに対する血漿交換療法の研修体制

日本アフェレシス学会 技術委員会では、コ・メディカルに対する血漿交換療法の研修体制について検討してまいりました。これは、血漿交換療法の多くが難病指定の疾患であることなどから施設ごとの施行件数に大きな差が生じており、安全で質の高い血漿交換療法技術を普及する大きな障害となっていること、そして施設の専門性、施設環境に応じて経験する疾患も大きく異なっていることがあげられます。これらのことから、広く血漿交換療法技術を経験し習得可能な体制の確保が必要と考え、本研修体制を構築いたしました。研修対象者は、学会会員の臨床工学技士、看護師、准看護師になります。研修は、医療機関においては各血漿交換療法に対して3回以上実施することを基本として、また、企業研修センターでは血漿交換療法の基礎系を習得することになります。

研修を希望される方は、別紙の1) コ・メディカルに対する血漿交換療法の研修体制 2) 血漿交換療法研修計画 3) 研修施設一覧をご確認戴き手続きを行ってください。